

---

# 音楽分科会

---

## I 研究のあゆみ

4月23日(水)	2025年度名教組教研オリエンテーション (2025年度名教組教育研究活動の進め方)	【教育館】
5月1日(木)	発表テーマ報告・集約	
5月12日(月)	研究計画の検討(第1次実践の検討)	【星ヶ丘小】
6月13日(金)	研究内容の検討(第2次実践の検討と研究のまとめ方)	【星ヶ丘小】
7月22日(火)	レポートの検討	【星ヶ丘小】
8月26日(火)	市教研発表内容について検討(リハーサル等)	【星ヶ丘小】
8月~9月	市教研発表内容について個別に検討(リハーサル等)	
9月20日(土)	第75回名古屋市小中特別支援学校教職員教育研究大会	【ウイंकあいち】

## II 研究協議の概略

本分科会では、小学校から10本、中学校から1本の実践が報告された。その中でも、主体的に考え、友達と関わることで音楽表現を高め合ったり、音楽を形づくっている要素を手掛かりに、思いや意図に合った表現活動を行ったりするための手立ての工夫がなされた実践が多く見られた。実践内容は以下の通りである。

- 歌詞や音楽を形づくっている要素(リズム、拍、音色等)に着目した歌唱実践(3本)
- 思いや意図を大切にした歌唱実践(3本)
- 音楽活動の楽しさ、友達との協働的な活動を工夫した歌唱実践(2本)
- 身体表現を取り入れた歌唱実践(1本)、鑑賞実践(1本)
- よりよい表現を追究した歌唱実践(1本)

## III 今後に残された課題

- 「無自覚な学び」に気づき、実感を伴った理解「経験を経て獲得した知識」として身に付けていくことが大切である。
- 実践を終えた後、子どもがどのように感じたのか、何を学んだのかを整理する活動を行い、探究心を高めていくことが大切である。
- 個々にもった思いや意図を安心して表現できる教室環境(心理的安全性が約束されていること)を日頃から意識することが大切である。